

2024年3月期第2四半期

決算説明会資料

(2023年11月27日)

**SHINWA CO.,LTD.**

# Contents

Chapter  
01 | 会社概要

Chapter  
02 | 2024年3月期第2四半期決算概要

Chapter  
03 | 中期経営計画および2024年3月期 業績見通し

Chapter  
04 | ESGの取り組みについて

| Chapter 01 |

# 会社概要

---

**SHINWA CO.,LTD.**

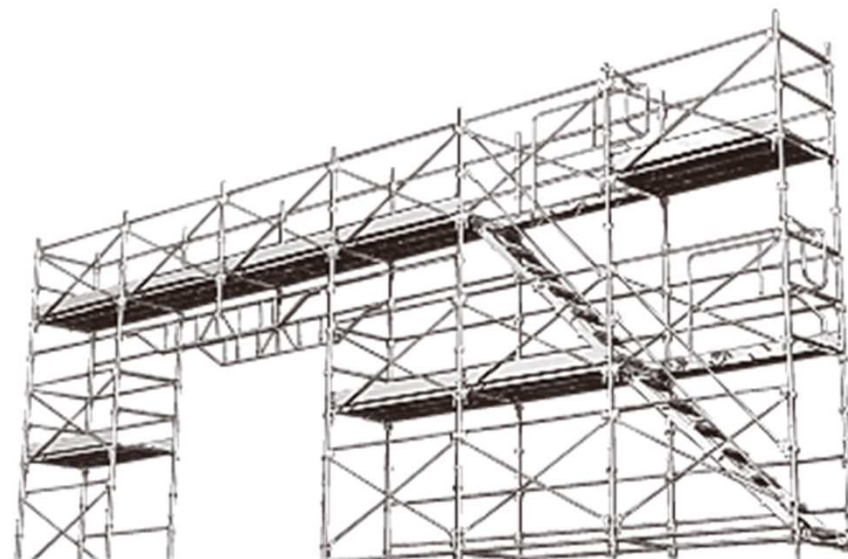
# PURPOSE 命を守り、未来を支える

## OUR MISSION

私たちは、製品・サービスを通じて大切な「命」を守ります  
私たちは社員のやる気を応援し、「夢と未来」の実現を支えます

## OUR VISION

私たちは、お客様から信頼される企業を目指します  
私たちは、お客様とともに成長を続けます



# 会社概要



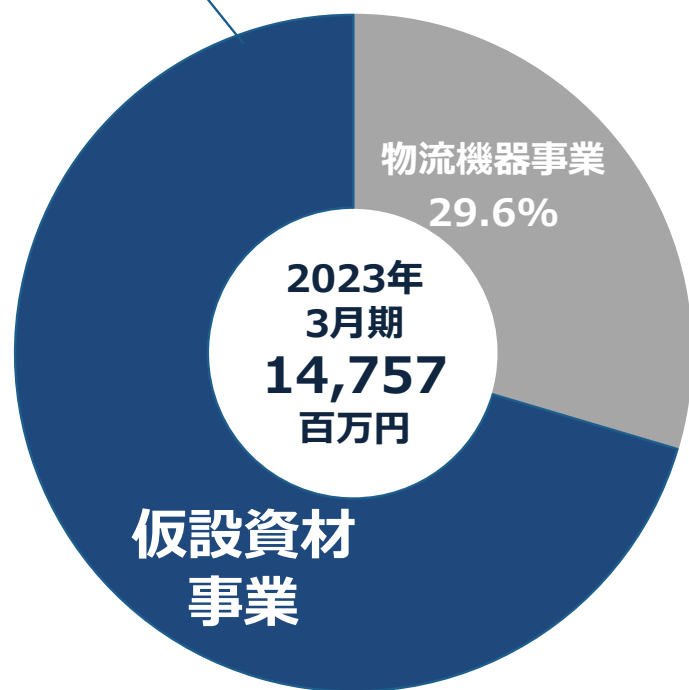
社名	信和株式会社
本社	〒503-0311 岐阜県海津市平田町仏師川30-7
代表者	代表取締役社長 則武 栗夫
創業	1977年9月
資本金	153百万円
従業員数	179名 (※)
拠点数	国内11拠点 / 海外2拠点
証券コード	3447
上場取引所	東証スタンダード・名証プレミア

(※) 2023年3月末現在嘱託社員・パート社員を含む



# 仮設資材事業

70.4%



# 仮設資材事業

幅広いマーケットへ  
製品を供給できる**唯一の企業**



**低層**

戸建住宅  
店舗・倉庫

**中層**

マンション  
工場・大型倉庫

**高層**

大型マンション・ビル

**超高層**

タワーマンション

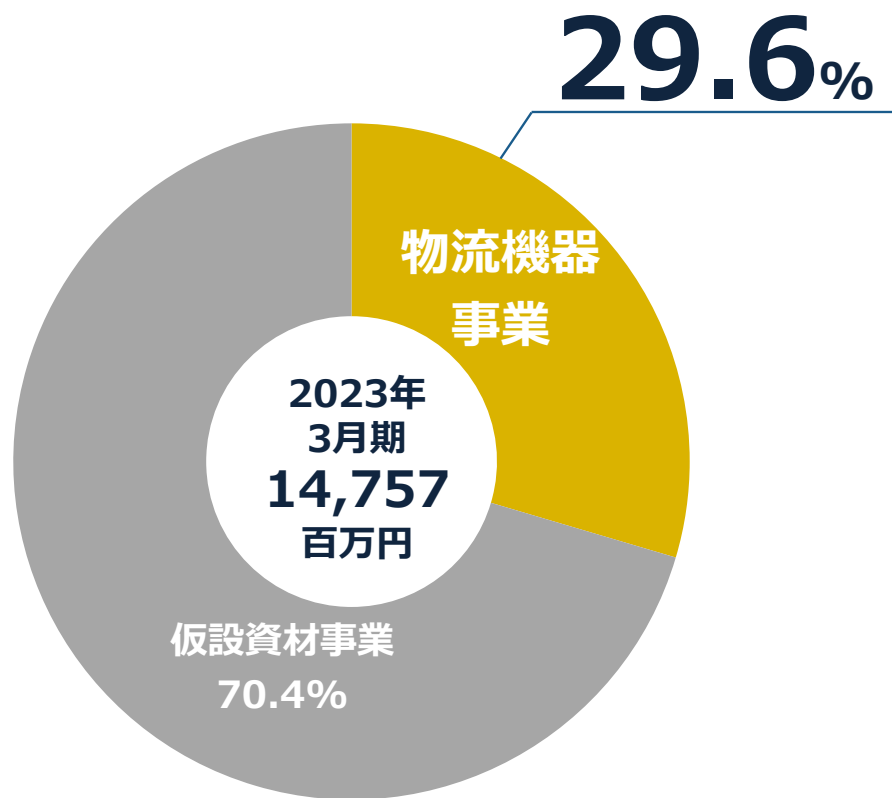
くさび緊結式足場

次世代足場

連層足場

システム足場

# 物流機器事業



(イメージ)





# 当社の強み① 売上を維持する力（仮設資材事業）

## 業界内での高い認知度と信頼

### 01 実質的な業界標準

当社の足場製品は業界で『シンワタイプ』と呼ばれ、実質的な業界標準となっている。創業時に行った製販一体の営業戦略が功を奏し、業界内で一気にシェアを確立した。

### 02 お客様からの高い評価

顧客からは「軽くて扱いやすい。足場を組みやすく、長持ちする」と評価されている。それにより、公共工事・ハウスメーカーなど、高い安全性が求められる現場でも信頼性の高い製品として使用されている。

### 03 最適な品質

当社の足場製品は、溶接がしっかりとしていること、製品の寸法にばらつきが生じていないことなどお客様が足場を施工する上で必要な品質に絞っており、過度な品質向上を追い求めていない。こうした「最適な品質」を提供するために、厳しい社内基準を設けるとともに、検査ケージを用いて検査を行う仕組みづくりを行っている。

# 当社の強み① 売上を維持する力（物流機器事業）

## 顧客の課題解決の先を行く提案力と低コストでの実現力

01

課題

強度向上



解決方法

コンテナケージを  
提供



02

課題

最適な形状



解決方法

最適な形状の製造  
正確な設置



03

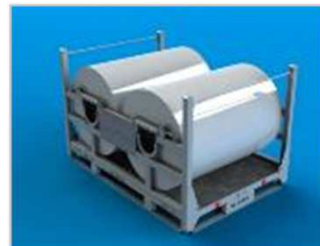
課題

効率性向上



解決方法

専用搬送用  
パレットの提供



04

課題

安全な運搬



解決方法

専用搬送用  
パレットの提供



## 当社の強み② 高収益性

### 売上を維持する力と低コストでの製造力により、 高い営業利益率を維持

#### 製造能力

- 少人数にもかかわらず生産性が非常に高い。
- 足場製造は、134台の溶接ロボットが行っており、均一な品質の製品を大量に生産することが可能

#### 調達力

- 圧倒的な製造量を背景に、原料を安く仕入れることができる。
- 鉄鋼メーカーに当社独自の厳しい基準に適した材料を生産依頼
- 材料の仕様や品質、調達価格など通常ではできない直接交渉できる。
- 国内だけではなく、海外メーカーとの直接取引ができ、安価で購入できることが強み

# 社員満足度

## 高成長、高収益を実現させるため、社員満足度向上に注力

### 社内制度

大卒初任給25万円（2021年までは21万円）

年間休日124日

ワークライフバランスの実現

短時間制社員制度

65歳定年制度

70歳までの再雇用制度



メーカーとしてお客様のニーズに答えられてやりがいを感じる。

部署間の距離が近い



定年まで長く安心して働ける。

ライフステージに合わせた働き方ができる！





# リスクへの備え

新分野への進出・調達力でリスクに備える。

01

リスク  
国内建設業界の景気動向



当社の備え  
超高層建築分野、  
インフラ施設の改修向け製品



02

リスク  
原材料の価格変動



当社の備え  
国内外の多様な仕入れ先



| Chapter 02 |

# 2024年3月期 第2四半期決算概要

---

**SHINWA CO.,LTD.**

# 2024年3月期 第2四半期決算ハイライト

売上収益

**6,621百万円（前年同期比▲25.7%）**

仮設資材部門においては、全体としてはレンタルで調達する動きが継続したほか、工事の着工延期・遅延などの状況が続いた。  
また、物流機器部門では前第2四半期累計期間にあったスポット的な大型案件がなく売上収益は減少。その結果として、売上収益全体は前年同期比 25.7%減

売上  
総利益

**1,467百万円（前年同期比▲31.8%）**

売上収益減少に伴い売上総利益額も減少。売上総利益率も資材価格の高止まり、協力会社からの取引価格の改定要請によるコスト上昇等の影響により、前年同期比 1.9ポイント減の22.2%

営業利益

**520百万円（前年同期比▲53.2%）**

売上収益は減少したものの、人的資本への投資・還元の拡充を実施。  
営業利益率は前年同期比 4.6ポイント減の7.9%

四半期  
利益(※)

**339百万円（前年同期比▲54.3%）**

四半期利益率、前年同期比 3.3ポイント減の5.1%

※親会社の所有者に帰属する四半期利益  
四半期利益率(%) = 親会社株主に帰属する四半期利益 ÷ 売上収益 × 100

# 2024年3月期第2四半期 連結業績

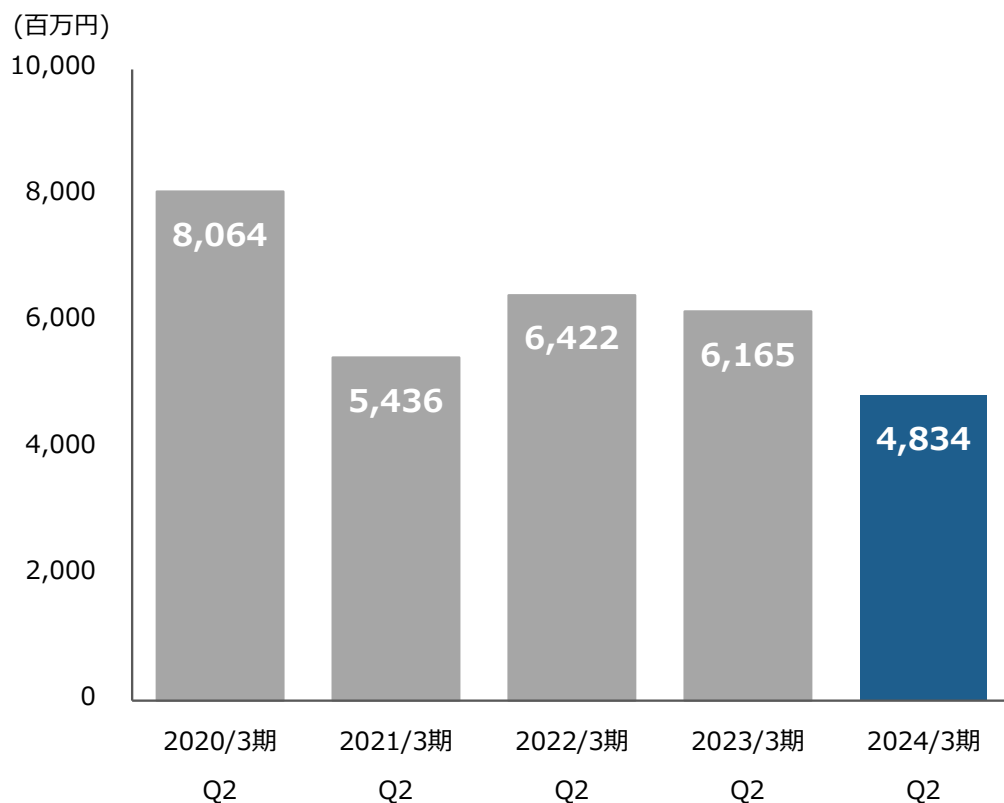
(IFRS・百万円)

	2022.3月期 2Q	2023.3月期 2Q	2024.3月期 2Q			
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	計画 (売上比)	実績 (売上比)	計画比 増減額 (増減率)	前期比 増減額 (増減率)
売上収益	8,231 (100.0%)	8,909 (100.0%)	7,332 (100.0%)	<b>6,621</b> <b>(100.0%)</b>	▲710 (▲9.7%)	▲2,287 (▲25.7%)
仮設資材部門	6,422 (78.0%)	6,165 (69.2%)	5,340 (72.8%)	<b>4,834</b> <b>(73.0%)</b>	▲506 (▲9.5%)	▲1,331 (▲21.6%)
物流機器部門	1,808 (22.0%)	2,743 (30.8%)	1,991 (27.2%)	<b>1,787</b> <b>(27.0%)</b>	▲203 (▲10.2%)	▲956 (▲34.8%)
売上総利益	2,184 (26.5%)	2,150 (24.1%)	— (—%)	<b>1,467</b> <b>(22.2%)</b>	— (—%)	▲683 (▲31.8%)
販管費	941 (11.4%)	1,026 (11.5%)	— (—%)	<b>944</b> <b>(14.3%)</b>	— (—%)	▲81 (▲8.0%)
営業利益	1,252 (15.2%)	1,113 (12.5%)	695 (9.5%)	<b>520</b> <b>(7.9%)</b>	▲174 (▲25.1%)	▲592 (▲53.2%)
親会社に帰属する 四半期純利益	846 (10.3%)	744 (8.4%)	460 (6.3%)	<b>339</b> <b>(5.1%)</b>	▲120 (▲26.1%)	▲404 (▲54.3%)



# 部門別の状況／仮設資材部門

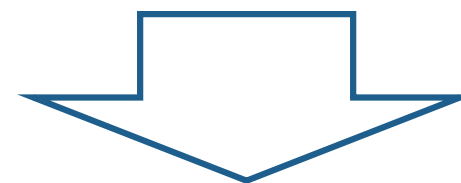
## 売上収益の推移



SHINWA CO., LTD.

## 当第2四半期連結累計期間の状況

- 安全措置資材は引き続き高い需要はあるものの、販売からレンタルでの調達、及び建設従事者の人手不足などによる工事着工の延期・遅延により資材調達の先送りが続く。
- 前第2四半期累計期間においては、一時的に価格改定前の集中的な購買があった。
- 次世代足場は、枠組足場からの入れ替えや将来の工事増を見越した案件により増加

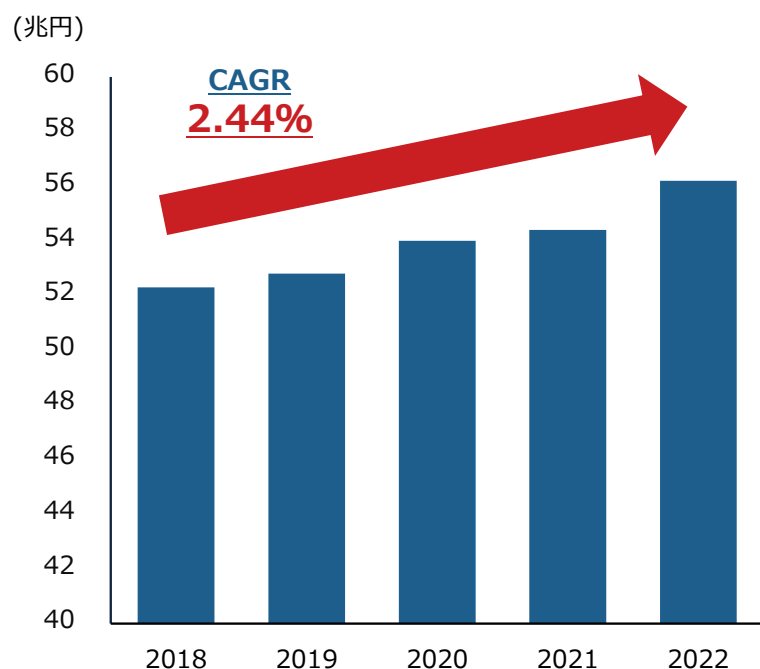


**売上収益4,834百万円。  
前年同期比21.6%減となった。**

# 建設投資総額及び建築物リフォーム・リニューアル工事受注高の推移

建築投資総額は伸びており、そのうち住居リフォーム・リニューアル工事の受注高は堅調に推移

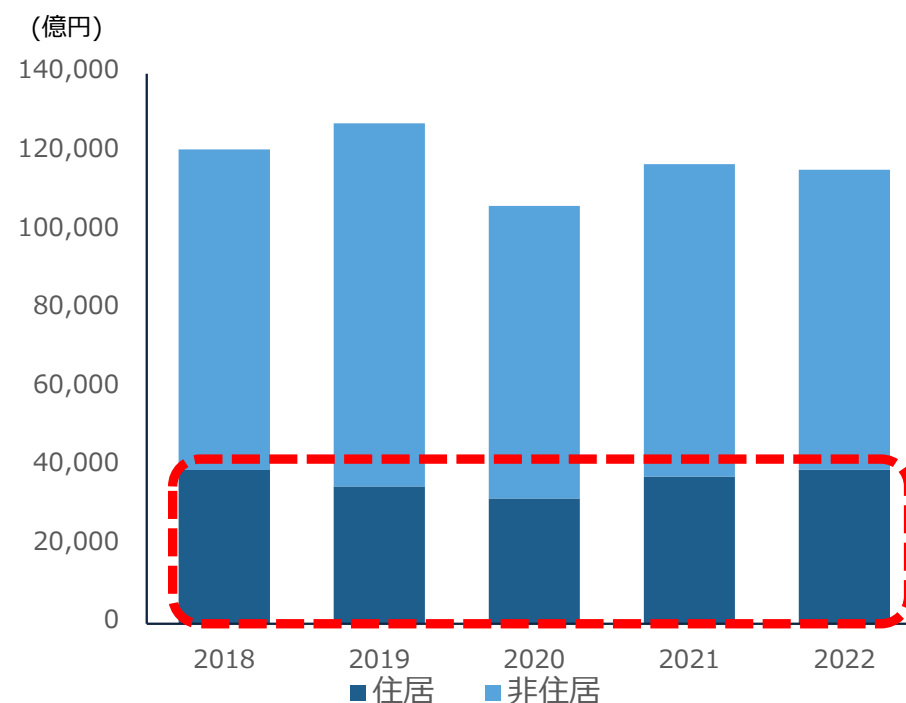
## 建設投資総額の推移



出典：国土交通省「建設総合統計」

SHINWA CO.,LTD.

## 建築物リフォーム・リニューアル工事受注高の推移



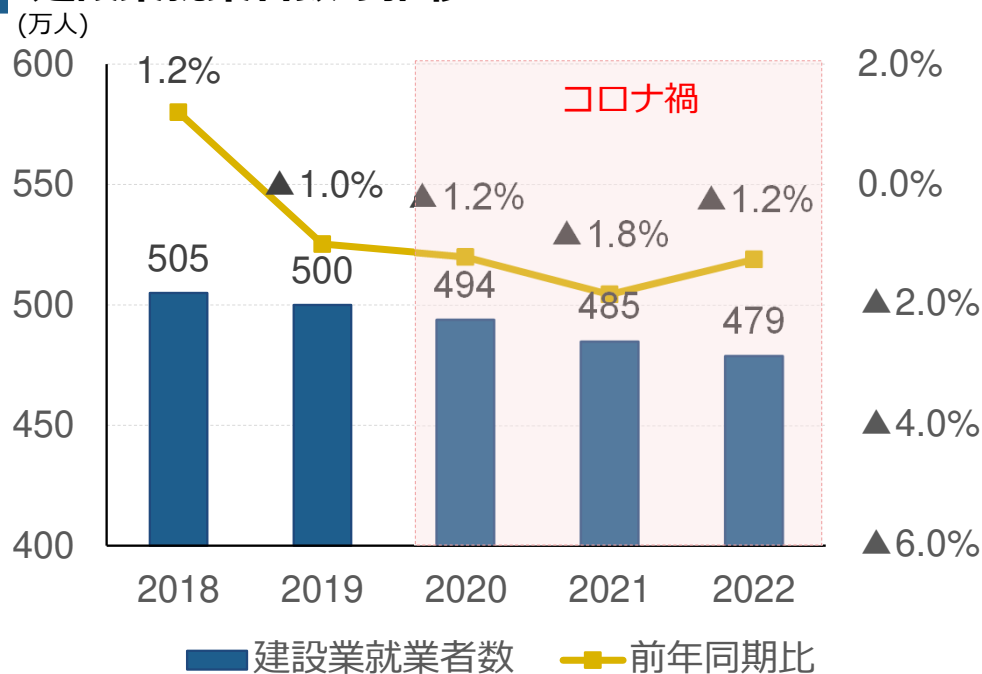
出典：国土交通省「建築物リフォーム・リニューアル調査報告」

Copyright© Shinwa Co., Ltd. All rights reserved.

# 建設業就業者数及び建設技能者数(※)の推移

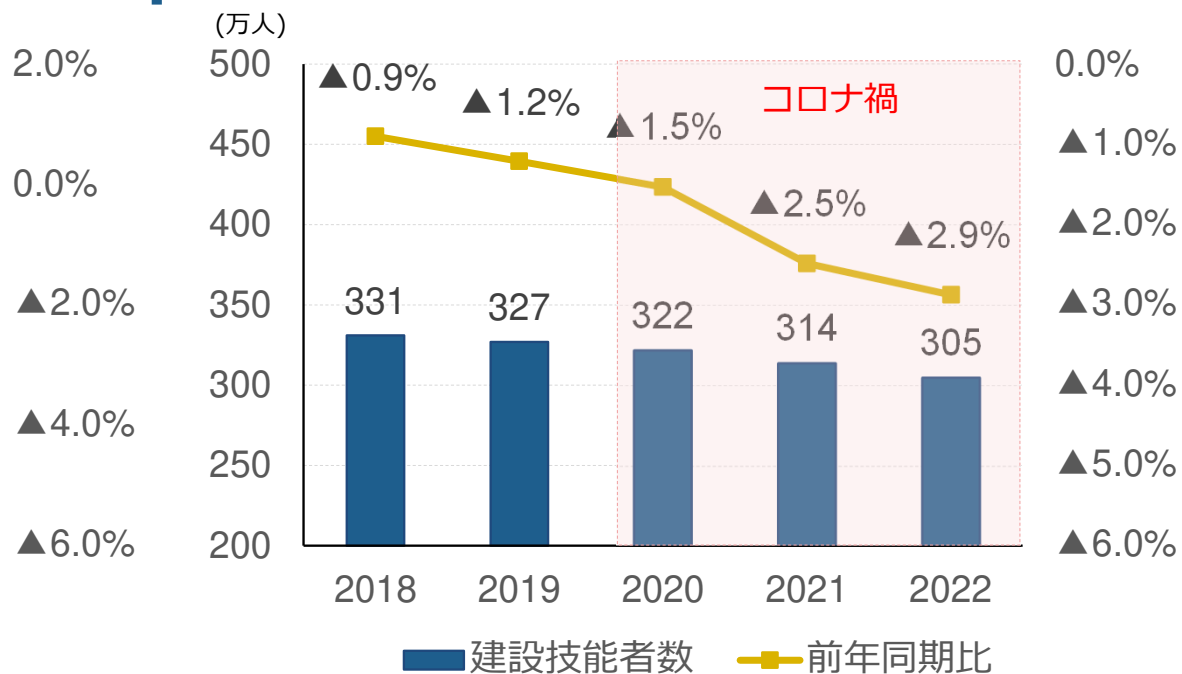
建設業就業者数は年々減少しており、特に建設技能者数はコロナ禍が始まった2020年以降、減少幅が拡大

## 建設業就業者数の推移



出典：総務省「労働力調査」

## 建設技能者数の推移



出典：総務省「労働力調査」

(※) 建設技能者数：建設工事の直接的な作業を行う、技能を有する労働者の数

(※) 建設業就業者数：上記建設技能者に、営業職・事務職・設計職・管理職・技術職等に従事する労働者を加えた数

# TOPICS 橋梁用システム足場「ラピッドフロア™」(※)を共同開発

高品質・高効率な橋梁用システム足場を共同開発を通じて、仮設業界ひいては建設業界の課題解決に貢献

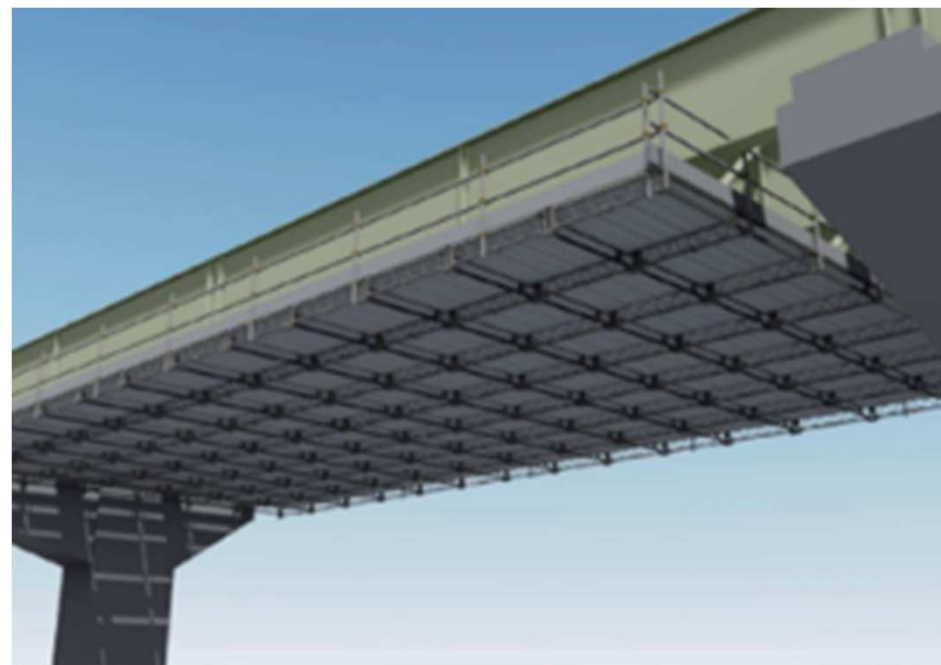
## 課題

- 老朽化した道路橋などのインフラ施設の維持補修
- 施工できる技術を持つ職人の不足

## メリット

- 吊チェーン間隔1.8mの広い作業スペース
- 足場上から安全な張り出し施工による組立・解体が可能のため、高所作業車の使用を削減
- 簡単かつ安全・スピーディに施工できるため、作業工数および作業日数の短縮による施工コスト削減を実現

## ラピッドフロア™設置イメージ



(※) 特許番号 第6957723号、第7179924号



# 国土強靱化計画

橋梁用システム足場「ラピッドフロア™」は政府による国土強靱化計画に沿った製品。  
国土強靱化関連予算は拡大を続けており、増加する需要に応えるべく、  
2024年度の市場投入を目指し、各種申請・試験を実施中

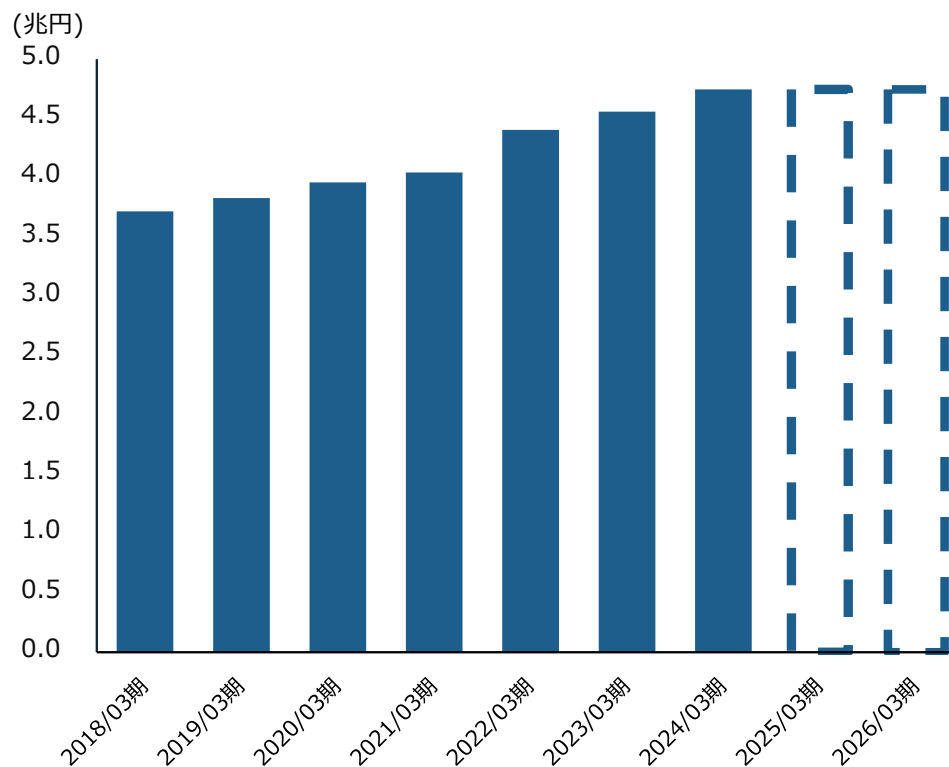
## 国土強靱化とは

地震や津波、台風などの自然災害に  
強い国づくり、地域づくりを目指す  
国の取り組み

- 橋脚・高速道路などのインフラ老朽化対策等のための戦略的な維持管理・更新の推進
- 橋梁、トンネル等の耐震化の促進
- 鉄道施設等の防災・減災対策 など

**政府方針として継続的・安定的かつ強力に推進されることが示されている。**

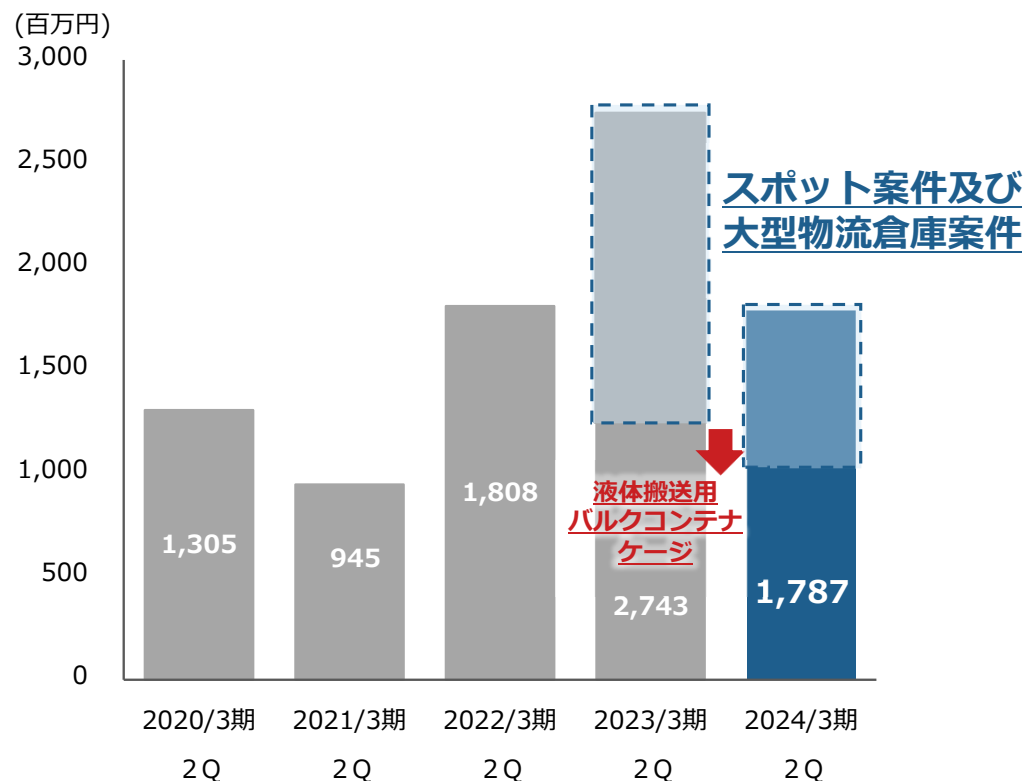
## 国土強靱化関連予算の推移



出典：内閣官房「国土強靱化関係予算案の概要」

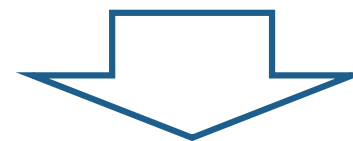
# 部門別の状況／物流機器部門

## 売上収益の推移



## 当第2四半期累計期間の状況

- リピート案件を中心に安定した受注は見受けられた。
- 液体搬送用バルクコンテナケージは、市場需要が一旦落ち着き、出荷量は減少した。
- 前第2四半期累計期間にスポット的に発生した大型案件である電気機器向け資材運用パレット等の売上が減少
- 大型物流倉庫案件は着実に受注・施工が進むなど、堅調に推移した。

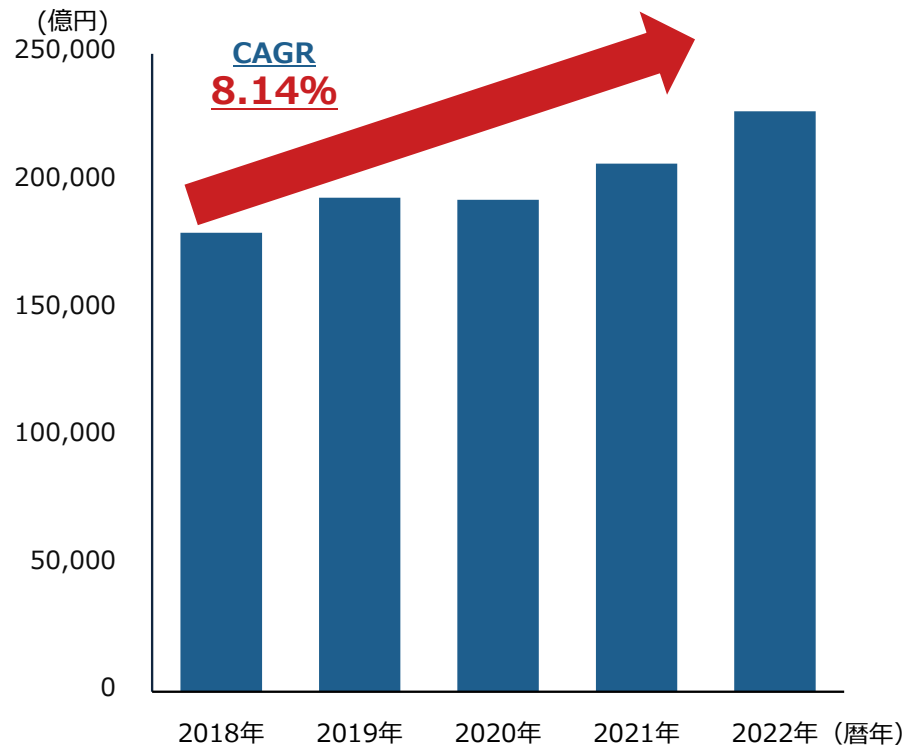


**売上収益1,787百万円。**  
**前年同期比34.8%減となった。**

# EC市場規模と倉庫・物流施設工事受注額の推移

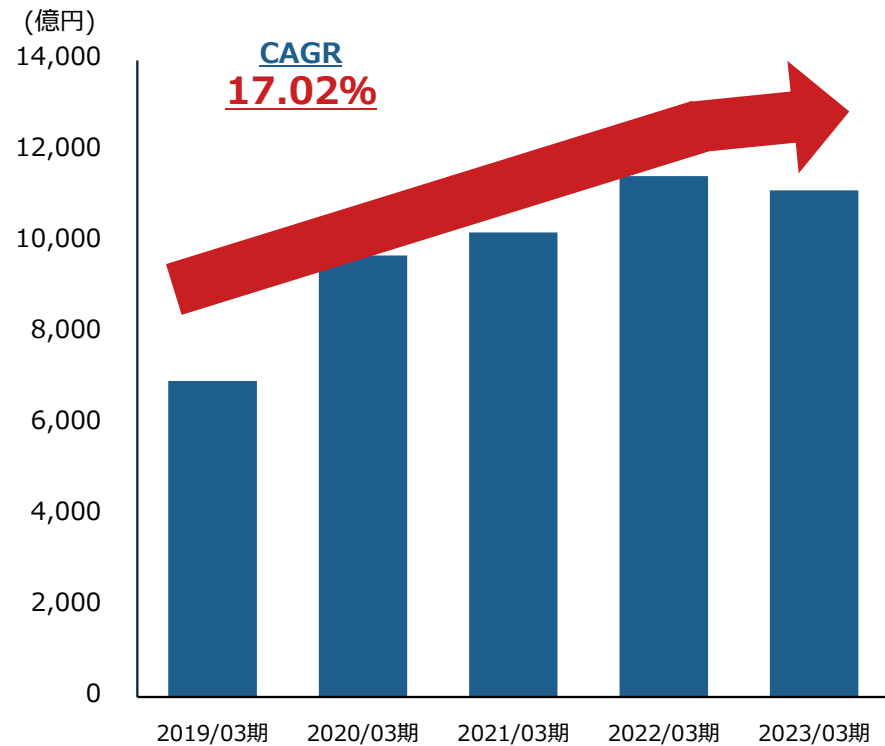
EC市場規模の拡大に伴い、倉庫・物流施設の工事受注額の拡大は続いており、当社における物流倉庫関連の案件も継続的に受注獲得中

## EC市場規模の推移



出典：経済産業省「電子商取引に関する市場調査」

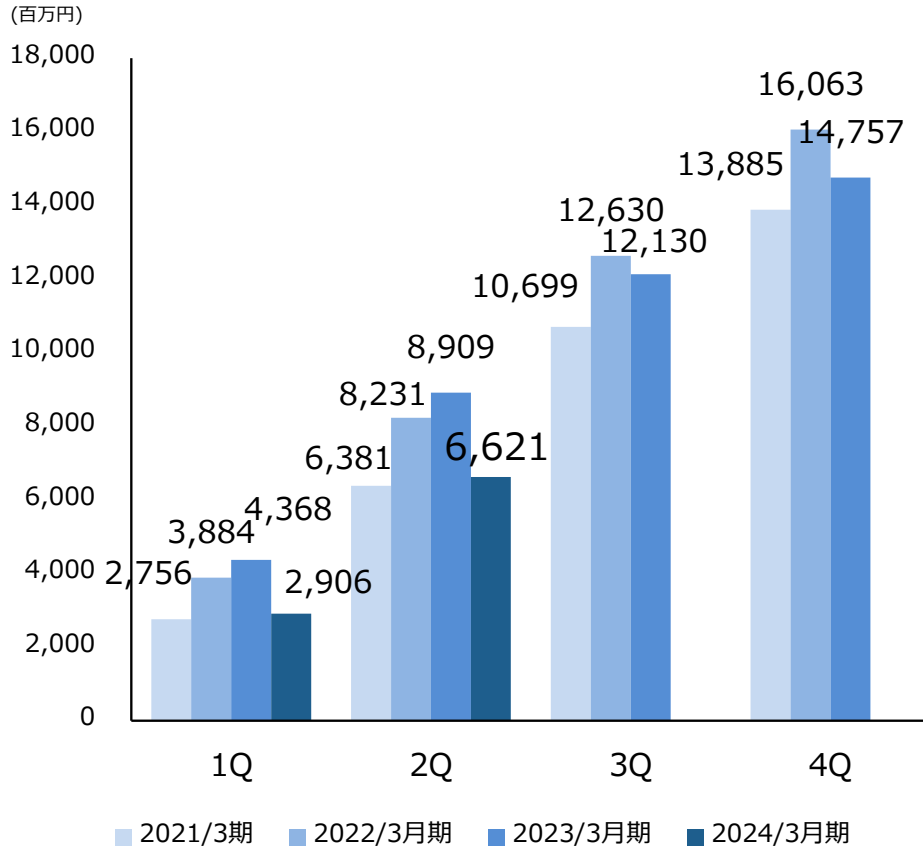
## 倉庫・物流施設工事受注額の推移



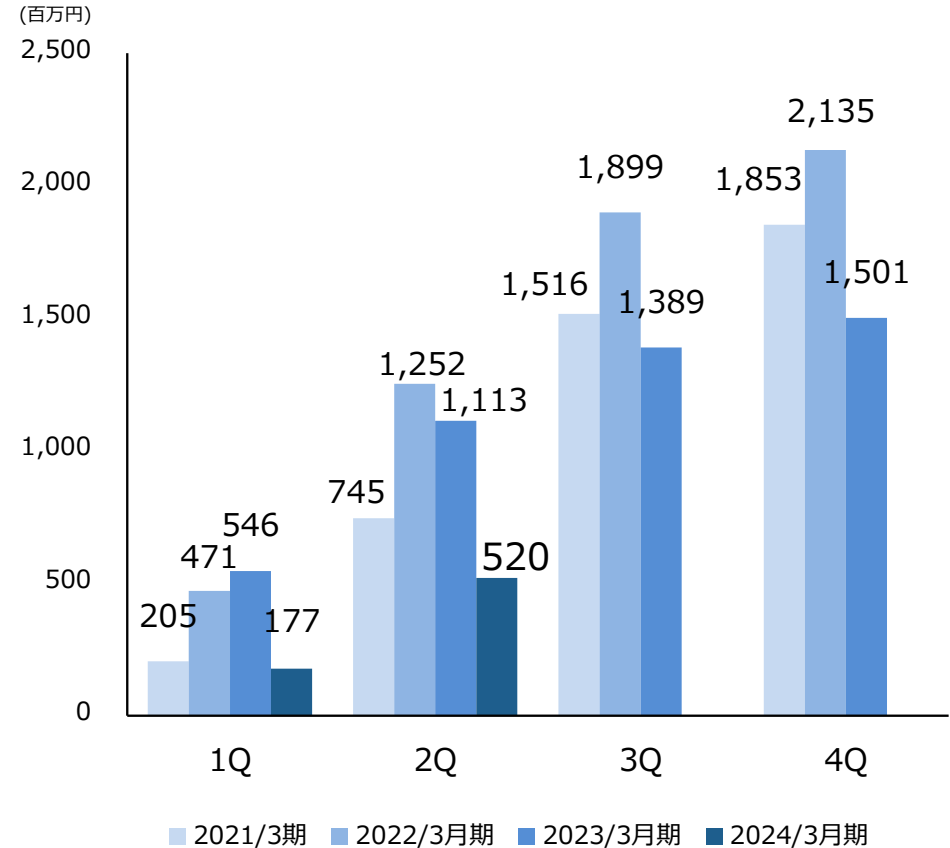
出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査（大手50社調査）」

# 2024年3月期 四半期累計推移

## 四半期累計売上収益



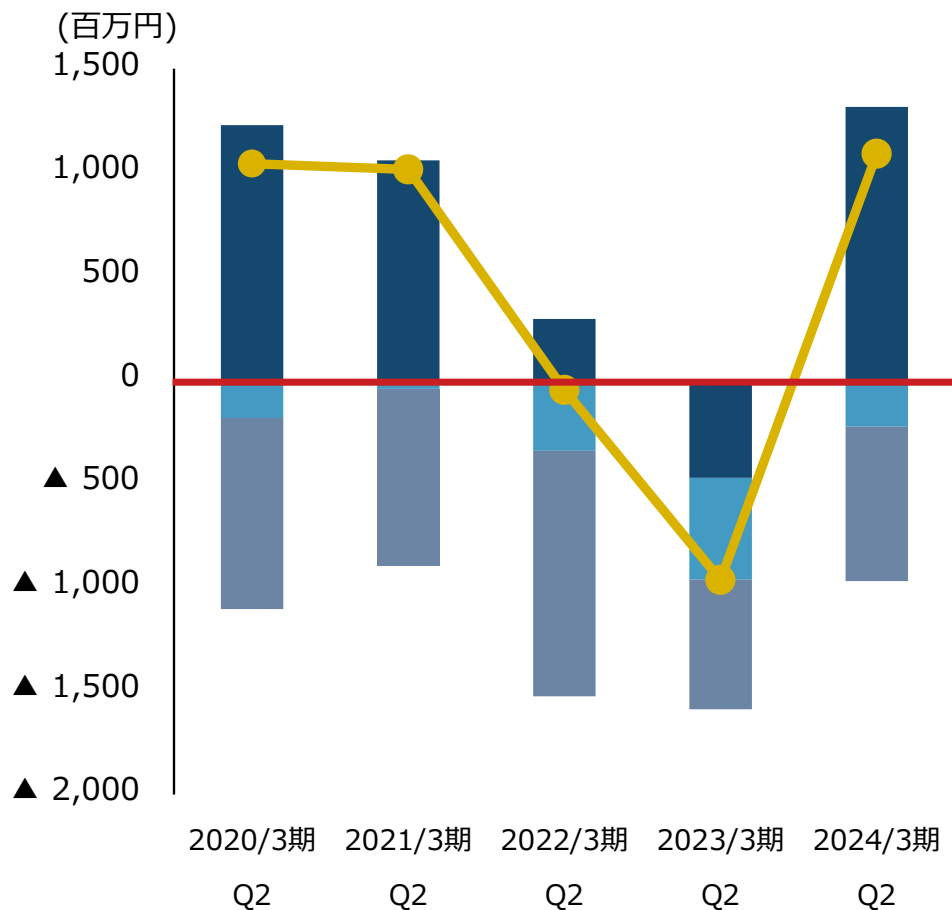
## 四半期累計営業利益





# キャッシュ・フロー計算書増減要因

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ● フリーCF(営業CF+投資CF)



## 営業キャッシュフロー

(百万円)  
**+1,316**

税引等調整前四半期利益	+496
減価償却費	+279
棚卸資産の減少	+1,037
営業債権及びその他の債権の増加	▲776
営業債務及びその他の債務の増加	+143
法人取得税の支払額	▲122
その他の増減	+259

## 投資キャッシュフロー

**▲226**

有形固定資産の取得による支出	▲229
無形資産の取得による支出	▲3
金融資産の取得による支出	▲6

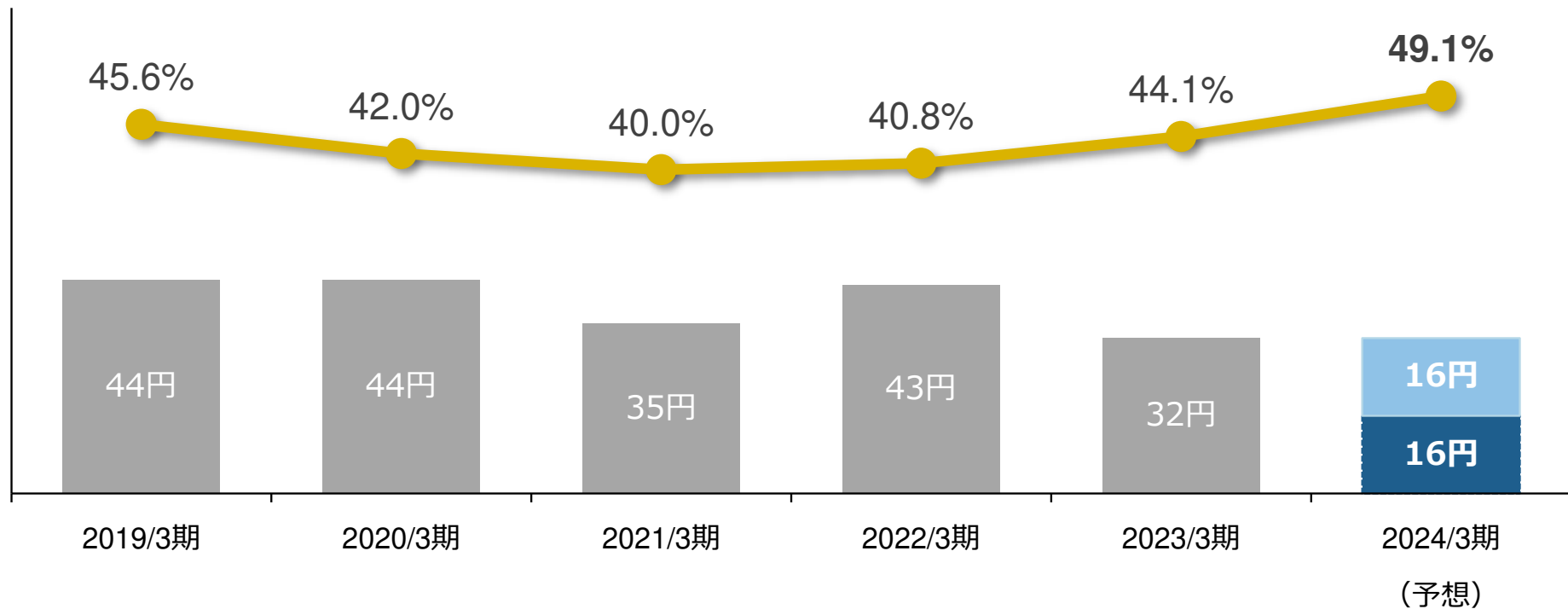
## 財務キャッシュフロー

**▲745**

長期借入金の返済による支出	▲250
配当金の支出	▲444
リース負債の返却による支出	▲45

# 中間配当の実施

2024年3月期（2023年9月第2四半期）より、中間配当を新設。  
利益還元を増やすことで、株式を継続して保有していただくことが目的。  
配当性向40%以上、配当金額は年間32円を維持



| Chapter 03 |

# 2024年3月期 業績見通しおよび 中期経営計画

---

**SHINWA CO.,LTD.**

# 中期経営計画の概要について

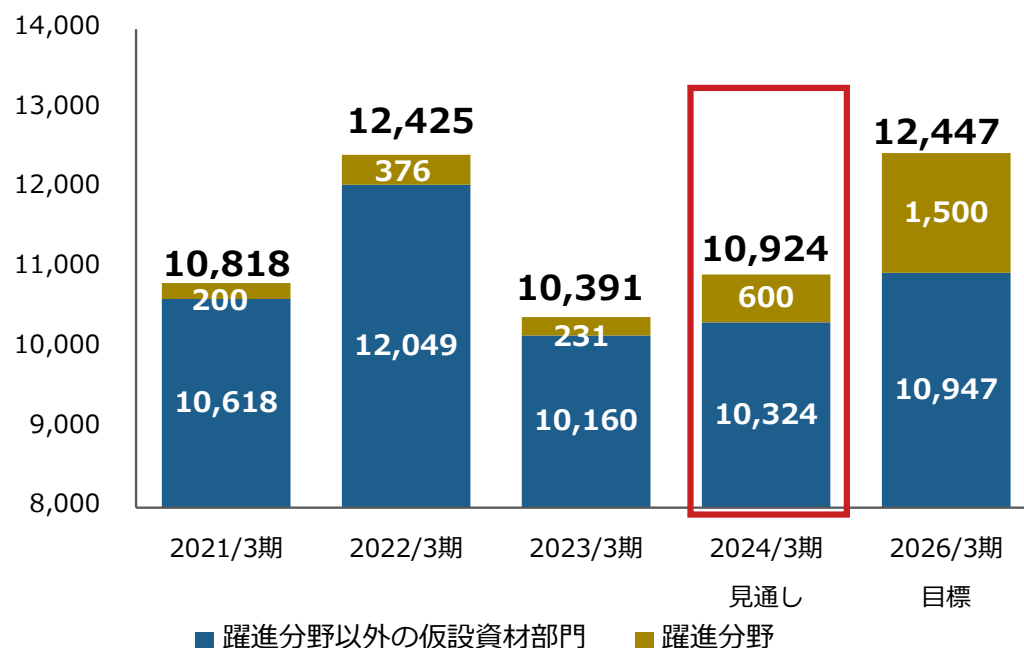
KPI	2022年3月期実績	2023年3月期実績	2024年3月期見通し	2026年3月期目標
売上収益（百万円）	16,063	14,757	15,100	18,500
営業利益（百万円）	2,135	1,501	1,371	2,000
税引前利益（百万円）	2,063	1,434	1,317	－
親会社の所有者に帰属する 当期利益（百万円）	1,452	1,007	907	－
EBITDA（百万円）	2,689	2,137	2,000	2,550
EPS（円）	105.3	72.4	65.2	100.0円前後
ROE	9.8%	6.6%	6.0%前後	8.0%前後
一株当たり年間配当金 （円）	43.0	32.0	32.0	－
配当性向	40.8%	44.1%	49.1%	40.0%以上
自己株買い（百万円）	299	－	資本の状況に応じて検討	

# 仮設資材部門の業績見通し

2024年3月期は大手リース会社との協業を通じて大型の需要が見込まれることにより、通期計画の達成を見込む。

## 売上収益の見通し

(百万円)



※ 表中の躍進分野は中期経営計画の区分となります。

SHINWA CO., LTD.

## 仮設資材部門の施策と取り組み状況

- 枠組足場から次世代足場への切り替えの促進  
資材価格の高騰という逆風により切り替えスピードは鈍化しているが、枠組足場を保有する足場業者はいまだに多いため、安全性、組立作業効率、輸送・保管効率に優れる次世代足場の提案を継続中
- レンタル事業の強化  
建設資材の高騰を背景として、足場施工会社による仮設資材の調達方法が多様化。これに対応するため、買取特約付きのレンタル等の様々な提案により収益の拡大を図る。また、地域ごとの特性を踏まえた拠点戦略を展開する予定

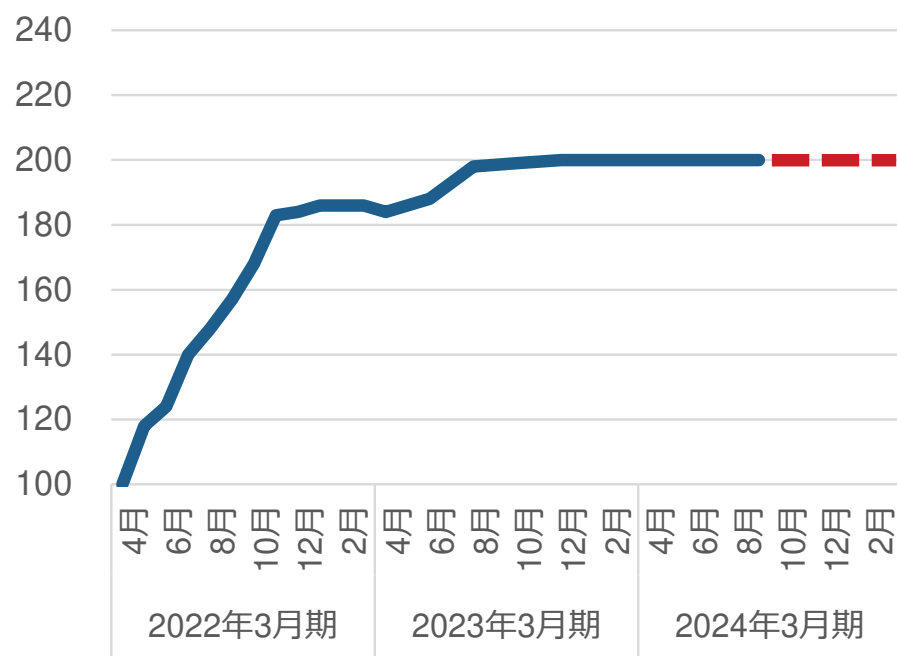


# 原材料価格の推移見通し

当社製品の原材料価格は、引き続き高止まりが継続するものと想定

## 鋼材価格の上昇率（イメージ）

2021年4月度を100とした場合の上昇イメージ



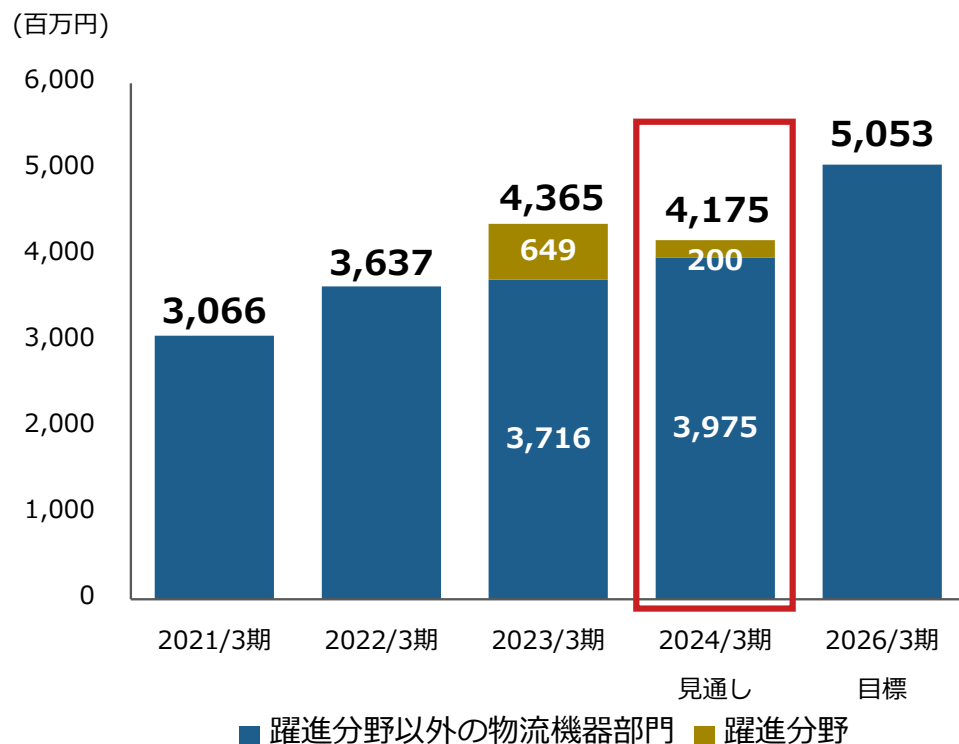
## 原材料価格高止まりの背景

- 鉄鉱石・原料炭などの主原料価格の上昇は予想されているものの、中国材の影響で国際鋼材価格は軟調
- 国内では、円安傾向が継続し、副資材価格などの製造コストは上昇しているが、需給バランスから鋼材価格の上昇圧力は弱く、現状の価格水準が継続するものと見込む。

# 物流機器部門の業績見通し

2024年3月期は液体搬送用バルクコンテナの需要の回復、大型物流倉庫向け案件が堅調に推移するものと見込む。また、幅広い分野での新規案件の拡販に努める。

## 売上収益の見通し



※ 表中の躍進分野は中期経営計画の区分となります。

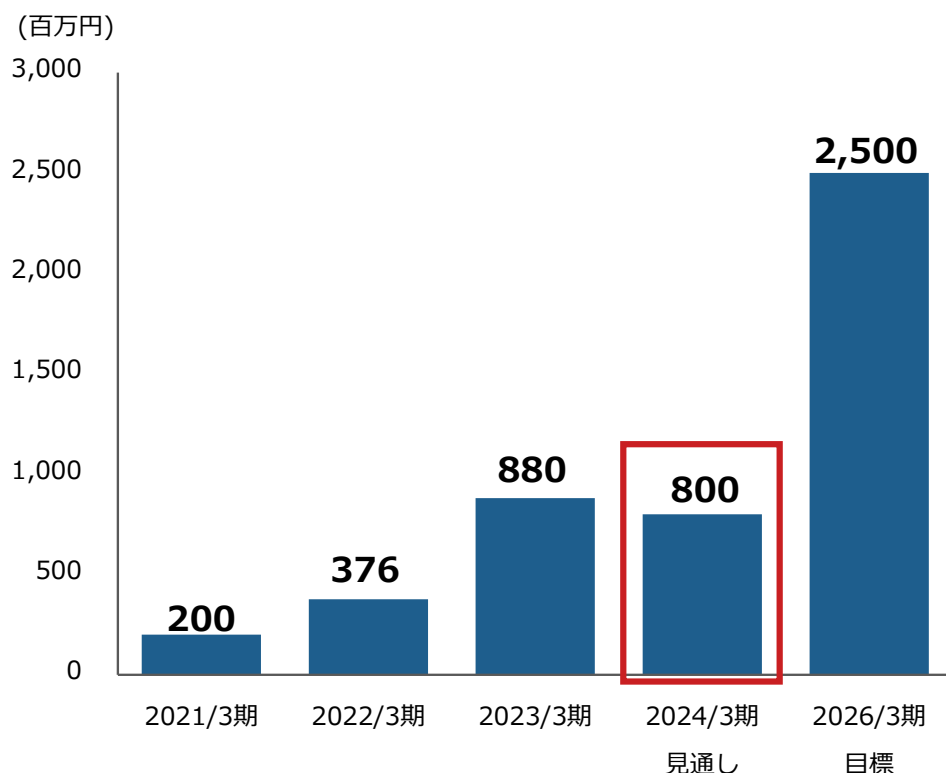
## 物流機器部門の施策と取り組み状況

- レンタル事業の拡大による売上収益増加  
自動車部品メーカー、輸送用機器メーカーへのレンタルなど堅調に推移している。レンタル終了後は買い取る場合が多く、在庫保管リスクを少なくしたビジネスを行っている。
- EC機能の強化  
2022年7月に物流機器部門専用のホームページ「S-Logi」を開設。導入効果として、ホームページを通じた見積依頼、商品の図面や在庫数、取り扱い説明書や紹介動画などの掲載による商談のスピード向上及び成約率の上昇につながっている。
- アライアンス先との共創関係の強化  
2023年3月期はアライアンス先からの紹介で建材業界など新たな事業領域へ進出することができた。  
今後ともアライアンスを深化させて様々な取り組みを進めていく。

# 躍進分野の業績見通し

2024年3月期は超高層建築物向け連層足場、橋梁用システム足場の販売を中心として、通期計画の達成を見込む。

## 売上収益の見通し



※ 決算短信などで開示している事業部門別の業績区分とは異なっております。

SHINWA CO., LTD.

## 躍進分野の施策と取り組み状況

- 国内の新たなマーケットへの進出  
超高層建築物向け連層足場は販売3年目となり、売上収益は堅調に推移。また、国土強靱化政策に沿った製品として、橋梁用システム足場「ラピッドフロア™」を共同開発し、2024年度の市場投入を目指し現在準備中であり、こちらも売上収益に貢献する見込みである。
- 海外市場での事業強化  
中国での不動産、建設市場の冷え込みなどから、当面の間は当社がターゲットとする海外市場における販売増加は見込んでいない。
- 既存事業とのシナジーが期待できる企業M&Aを検討  
多数のM&A案件の中から当社の成長に資する案件を抽出し、検討を継続

| Chapter 04 |

# ESGの取り組みについて

---

**SHINWA CO.,LTD.**

# ESGの取り組みについて 環境

## カーボンニュートラルを目指した取り組み

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ CO2排出量削減推進	継続中	当社が排出しているCO2量を把握しており、今後の削減可能性を探っている。下記のフォークリフトの電動化はその一つ
■ 再生可能エネルギーの調達・太陽光発電システムの導入推進	継続中	水力発電など発電時にCO2を排出しない再生可能エネルギー電源に由来する「CO2フリー電気」の使用や、太陽光発電システムの利用などを引き続き検討中
■ 社有車・フォークリフト電動化	継続中	既存のフォークリフトの電動化を推進しており、全社では25%が切替完了。2024年3月期に34%、2026年3月期に40%に到達の見込み。製造工場内での切替率は、2029年3月期までに80%を予定

## 森林資源の保護・非森林資源の原料活用

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ 森林資源を非森林資源素材(廃プラスチック製品等)へ置き換えを推進	保留	当初、製品を地面に置く際の緩衝材として使用していた材木(盤木)を廃プラスチック製に変更する予定であったが、変更によって材木に備わっていた滑りにくさがプラスチック製では得づらいことが分かり、取り止め
■ コピー用紙・カタログ等の紙資源をFSCまたはPEFC認証用紙へ切り替え	完了	FSCまたはPEFC認証のコピー用紙やカタログ等の紙製品を選択することで、環境破壊を防ぎ、森林資源を持続可能な形で保持することに貢献

## 廃棄物の削減推進

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ 産業廃棄物の排出量の把握・削減や製造工程の工夫による歩留まりの改善	継続中	製造工程で発生するゴミの分別を徹底して行うことにより産業廃棄物の削減を行い、削減量をモニタリングし、環境負荷の低減、廃棄費用の削減に努める。
■ ペーパーレス化の推進による紙購入量の削減やリユース	継続中	特定の協力会社から送付される納品データを自動で自社の基幹システムに取り組むことで、これまで月末に紙媒体で行っていた請求書データと自社の受注データとの突合作業をなくした。また、電子帳票保存法に対応した取り組みを開始する等、その他の業務範囲への展開を進め、業務の効率化や環境負荷の低減を図る。



# ESGの取り組みについて 社会①

## 社会課題解決を事業として推進

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ 建設現場の効率化を図りつつ、街やインフラの維持・発展に寄与	継続中	① くさび緊結式足場・次世代足場の製造・販売など 枠組足場のデメリットである「運送・保管効率が悪くスペースを要する」「組み立てに際して熟練の技術が必要とする」などの課題に対応するための製品群を販売することにより、建設現場における課題を解決する製品群の販売を推進
	継続中	② 連層足場の製造 従来の建設現場での利用に加え解体現場での利用もできるよう改良を加えたことや、従来型の単管足場ではなく次世代足場部材を使用することで工程短縮に貢献することにより建設現場の効率化を図る。
	継続中	③ 橋梁用システム足場の共同開発 橋梁の新設や補修に用いられる一般的な「パイプ式吊り足場」よりも安全かつ施工性の高い「橋梁用システム足場」を共同開発。道路橋など社会インフラの老朽化への対応が急がれる中、政府による国土強靱化計画に沿った製品として、社会資本の維持・発展に貢献
■ 各種産業の運搬・保管効率を高め、環境負荷軽減を念頭にとした商品開発	継続中	液体搬送用バルクコンテナなどの商品開発 材料調達や製品発送などでの輸送効率の向上に寄与し、環境負荷を軽減

## 人材の育成強化

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ 人事評価制度、社内研修制度の改善強化	継続中	定期的な研修会の実施を通じて、マネジメントスキルその他の業務スキルの理解と習得を図る。
■ 雇用制度の見直し、シニア人材の活用	完了	① 65歳定年制導入 単なる労働力不足への対応ではなく、多様な人材が活躍できる、働き甲斐のある環境づくりの一環として、本制度を導入
	完了	② 短時間制社員制度の導入 フルタイム正社員と同等若しくはそれ以上の意欲や能力があるものの、長い時間は働けない人材（育児・介護等と仕事を両立したい社員、キャリアアップを目指すパートタイム労働者など）に、勤務時間をフルタイム正社員よりも短くしながら活躍してもらうことを目的として導入

Copyright © Shimizu Co., Ltd. All rights reserved.

# ESGの取り組みについて 社会②

## 職場環境の整備

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ 労働環境の安全対策活動の推進	継続中	EcoVadis 社の評価 企業のサステナビリティ情報プラットフォームを提供するフランスの調査機関「EcoVadis社」による2022年度サステナビリティ調査において、全世界で10万社以上の調査対象企業中、上位50%以内を示す「ブロンズ評価」を獲得
■ 社会の変化に対応した働き方の実現（IT環境整備、DX推進）	完了	①基幹業務システムの入替 社内で利用している基幹業務システムの老朽化への対応のほか、システムの肥大化や複雑化を招いている障害を解消し、統合的な情報連携と業務の効率化を推進
	継続中	②人事管理分野のDX化の促進 従業員のスキルや経歴を可視化することで、人材配置・育成の最適化（人材マネジメントの高度化）を目指す。

## ダイバーシティとインクルージョンの向上

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ 人権の尊重	継続中	差別やハラスメントを防止する規程や定期的な研修会による意識の向上、実態調査の実施などの取組を継続
■ 外国人人材の受け入れ推進	継続中	インドネシア等からの外国人人材の継続受入れ 外国人人材を受け入れ正社員として再雇用することによる人材の多様化、少子高齢化にともなう人手不足に対応

# ESGの取り組みについて 社会③

## 地域活性化の支援

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ 地域スポーツ競技、メディアへの協賛を通じた地域社会の発展	継続中	スポンサー活動 FC岐阜のトップパートナーとしての事業協賛や、高校野球岐阜県予選のCM協賛を通じて、スポーツ振興および地域の子供たちへのスポーツ教育を推進
■ その他の貢献	継続中	地域の花火大会への協賛や地元工業高校への教材用足場製品の無償提供などを通じて、地域活性化を推進

# ESGの取り組みについて 企業統治①

## 実効性の高いガバナンスの実践

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■多様な経歴・スキルを持つ社外役員の登用	完了	スキルマトリックスの開示 多様な経歴の社外取締役を含めるとともに、そのスキルを開示
■取締役会の活性化、迅速かつ的確な意思決定	完了	①取締役会資料の配布の早期化 議案に対する各取締役の理解を深め、活発な議論を通じて的確な意思決定を固めるため
	継続中	②取締役会審議事項の絞り込みと論点整理 取締役会の審議を充実し効率的に進めるため、取締役会が開催される前にオンライン会議やオフサイトミーティングを使った会議を開催し、議題の選定、論点の整理、時間配分などについて審議
■法令遵守を意識した経営の徹底	完了	①公益通報制度の活用 会社の不正行為を発見した従業員、その他関係者が不利益を受けることなく窓口に通報する制度を運用し、組織の自浄化を図る。
	継続中	②コンプライアンス研修の実施 社員のコンプライアンス意識を醸成し、法令違反やトラブルの未然防止、誤った行動を取らないことを推進

# ESGの取り組みについて 企業統治②

## 投資家との建設的な対話（IRの充実）

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ アナリスト・機関投資家・個人投資家向け決算説明会・事業説明会	継続中	個人・機関投資家それぞれに対して決算説明会の開催やIRフェアへの出展を行うことで、当社に対する理解を促し、適正な株価形成を図る。
■ 対話等を通じて得られた資本市場の声を経営層にフィードバック	継続中	株主・投資家からの意見を経営層が出席する会議体で報告し、経営の意思決定の参考とする。その一環として、当期は中間配当制度や株主優待制度を導入した。

## 株式報酬制度導入の検討

実現に向けた取り組み事項	進捗	狙い・効果
■ 株主目線での経営を強化すべく、譲渡制限付株式等の株式報酬制度を検討	完了	取締役及び執行役員が株主の皆様と同じ目線での価値共有を進め、企業価値の持続的な向上を図ることを目的として、2022年6月に導入

## 注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

## 信和株式会社

岐阜県海津市平田町仏師川30-7

部 署 — 経営企画部

T E L — 0584-66-4436

e-mail — ir@shinwa-jp.com